

## 2 将来ビジョン・基本目標

これまでの島根県農業は、農地に占める水田の割合が高く、気象や土壌の条件も適していることから長年米づくりを主体としてきたため、米の消費減少や価格低迷の影響により、農業産出額の減少傾向が顕著になっています。

農業産出額の減少と収益性の低迷が続く中で、魅力的な農業の姿が確立できず、意欲ある担い手の参入が進まなかった結果、担い手の高齢化が進展し、農業・農村全体の活力が失われつつあります。

こうした中で、将来にわたって持続可能な農業・農村を実現していくためには、県内各地域において、農地の生産性を上げ、意欲のある担い手が生産の大宗を占める農業構造を実現していく必要があります。

そのため、県の農地の生産性・収益性を全国レベルまで押し上げることを将来ビジョン・目標として設定します。

### ①将来ビジョン

可能な限り早期に農業産出額 100 億円増を目指す（基準：629 億円（平成 28 年））

### ②計画期間(令和 2 年度～令和 6 年度)における目標

設定する重点推進事項において、効果額を 100 億円生み出す

(参考)

	耕地面積 (本地)	H 2 8 農業産出額 (耕種)
全国	429.2 万 h a	59,801 億円
島根県	3.4 万 h a	378 億円(a)
シェア	<b>0.79 %</b>	<b>0.63 %</b>
農地の生産性・収益性が全国レベル (0.79%)となる場合の額		472 億円(b)
<b>押上額(b-a)</b>		<b>94 億円</b>

H28 農業産出額 629 億円 + 94 億円 = 723 億円 (≒730 億円)

→ **農業産出額 730 億円 農業産出額 100 億円増**

出典：農林水産省「生産農業所得統計」、  
「耕地面積」より作成

農業産出額の 100 億円増という将来ビジョンに加え、農村における営農や暮らしを維持する観点から、次のビジョン・目標を設定します。

### ①将来ビジョン

今後 10 年間で、担い手不在の集落の過半（550）の担い手不在状態を解消

### ②計画期間(令和 2 年度～令和 6 年度)における目標

275 の担い手不在集落で担い手不在状態を解消